

☆ AWC事務局便り 3月号 ☆



おなかいっぱいプロジェクト現地レポート

2015年12月から、おなかいっぱいプロジェクトは、チェンマイのストリートチルドレンの駆け込み寺「ドロップインセンター」を運営するアーサーパッターデッキ財団を支援しています。今回は代表のエーク先生から寄せられた現地レポートをご紹介します。

おなかいっぱいプロジェクトからの支援により食費が増えたことで、昼食だけでなく朝食も提供できるようになりました。ドロップインセンターの横にある食堂の協力で10パーツで子どもたちは登校前に朝食を食べることが出来ます。料金はスタッフが後で清算します。

また、今まではドロップインセンターで提供している昼食は量を重視した内容でしたが、栄養面を重視したメニューへ変更することが出来ました。午後のおやつに牛乳や果物の提供も開始しました。

子どもたちはお小遣いを手にするとインスタントラーメンや駄菓子を買ってしまいましたが、子どもたちの持っているお金と合わせて皆で協力してもっと栄養のあるおやつを食べることが出来るように栄養指導も行っています。

土日祝日は大きい子どもがリーダーとなって、昼食を作って皆で食べることをアクティビティの一つとすることにしました。自分は料理などできないと思っていた子どもたちが、料理を作って誰かに提供することで、自己自尊心の回復やボランティア精神が育まれることを期待しています。



チェンセン子どもの家 桑の葉大活躍！

アーサーパッターデッキ財団チェンセン子どもの家の桑は青々と茂っています。これからタイは1年でもっとも暑い季節になります。5月くらいから徐々に雨が降り始めて雨季になります。

雨季になるタイミングでまた養蚕をしたいと考えています。担当者が不在なので、正確な時期はこれから検討します。

最近、タイの畜産業界では桑の葉にプロテインが多いので、鶏や豚の飼料に桑の葉を混ぜることを奨励しています。子どもの家出身で、現在農業専門学校に通う子が卒業論文で「鶏に桑の葉を与えて成長率を比較する」という研究を行い、良い成果が出ました。今は、ひよこからずっと桑を与えると鶏肉の味がどうなるのか、どうしたらひよこが桑を食べるか試行錯誤しながら研究をしているそうです。

子豚は乾燥桑を好み、鶏は生の若葉を細かく刻んだものを好むようです。



タイの女性たちが心を込めた手作り石鹸

AWCでは、タイにあるSABU-SABUという会社で働く女性たちが心を込めて作った石鹸をイベントなどを中心に販売しています。SABU-SABUで働く女性の中には、DV被害に遭い住むところを失った女性や、国籍のない山岳民族の女性もいます。SABU-SABUは国籍取得の支援を行ったり、女性たちに石鹸作りの技術や仕事を提供することで生活の支援をしています。AWCは彼女たちが心を込めて作った石鹸を日本で販売することで、支援をしたいと考えています。

植物オイルをベースに天然の素材を使用し、じっくりと時間をかけて熟成させながら一つずつ手作りしたものです。現在AWCでは7つの種類（シトラス・グリーンティー、ジャスミン、グレープフルーツ&オレンジ、ゴートミルク、ラベンダー、ライム、ココナツ）を1つ600円で販売しています。どれも香りがよく、気持ちのいい使い心地です！ご興味のある方は事務局までご連絡下さい。

